

「澁澤写真」の類型化について

—景観写真の体系化と空間編成—

八 久 保 厚 志

HACHIKUBO Koshi

(COE共同研究員)

I はじめに

「澁澤写真」の活用について、これまで本COEプログラムの中で感じてきた諸課題について、小括しておかなければならない時期がきている。ここ3年にわたって、澁澤が残した映像資料、特に景観写真の同定や分析、現況との比較研究を行ってきたが、そこででてきた諸課題については、当該年次の年報においてグループとしての見解を示してきた。ただ、基本的な思考方法は共通している。すなわち、景観変化の主体たる要素は何か、その程度はどの様なものか、そしてどのような範囲（時間的および空間的）に作用してきたかの析出とその検証であり、具体的には「澁澤写真」で残された韓国や日本の臨海部、名所旧跡の写真を活用した空間構造の変化を明らかにするということに収斂できると思われる。各論者が期せずして共通の認識、課題に到達したのは、空間認識において地理学的アプローチで接近したからであろう。地理学における空間構造やその変化に対して景観から接近する部門が「景観地理学」であり、特有の手法も存在する。ただ、筆者を含めCOEの本グループの専攻は、同じ人文地理学というものの、社会・経済地理学（八久保）、文化地理学（須山、浜田）、人口・都市地理学（平井）、農村・農業地理学（藤永）と多様であり直接的に景観地理学の学術的な洗礼を強く受けてきたわけではなかった。ただ、このことが地理学の持つ対象に対する多様な見方をお互いが共有する経験として残った。そこで、本稿では、これら本COEに関する私共の得た「澁澤写真」の類型化についての一つの試案を示し、冒頭の

課題解決に供したい。

さて、本稿の構成は、以上のような見方から、まず、方法上の一つの考え方として「空間編成論」の概要を述べ、次に、分析の前提となる地域区分（空間設定）の案を示し、具体例を見ていく際の視点を明らかにする。最後に、具体例の解説、体系化する上での位置づけ（類型化）の一試案を示すことにする。また、筆者等が本COEプログラムの遂行の過程で行った「澁澤写真」の撮影地に限らず、ほぼ同時期に景観調査を行い、これまで撮りためてきたイングランドと、韓国の景観写真を今後の検討資料として記録しておくことにしたい。

II 景観写真と「空間編成（論）」の考え方

「空間編成論」は、地理学においては社会経済地理学上使われてきた用語であるが、日本ではほとんど議論されてこなかった用語でもある（水岡 1996）。筆者がある意図を持ってこの用語を使うようになったのは、筆者が大学院時代に参加した故鴨澤巖先生のゼミナールで、ある時期頻繁に使用された「空間消費」という概念に出会ってからである。その考え方の全体像の解説は煩雑にもなるし、筆者自体先生の意図を理解できていいるかどうか怪しいのでこれ以上触れないが、ただ、空間を消費するという考え方にとてつもない興味を覚えたのである。個人的には大学院を出るとすぐに工業大学の研究室で工業地理学の研究に没頭できる環境を得ることができ、そこでの経験が、工学と地理学の接点や境界領域を研究するときになって「空

間消費」概念の検討の必要性に行きあたったのである。これだけならまだしも、職場では工学研究上の要請もあり、研究室の主催者である竹内淳彦教授とともに、中国、韓国での国際学会、日本における国際会議の主催などを経験した。その中で多くの一流の経済地理学者と親交を得ることができた。そこで共通して話されてきたことは、工業活動と地域編成、その結果としての景観変化の理解であった。すなわち、経済活動としての工業生産とその地域的な配置や立地は、日常的に景観を絶えず変化させているということである。そしてその動機は経済合理性、政策上の合理性、ヒトの効用上の合理性のもと、激烈だったり、緩慢であったりしながら、継続し続けるのである。これら空間変化を「空間編成」(Space Organization) というワードで説明されていたのである。まさに、空間は「消費」され続けるのであり、編成 (organized) され続けるのである。

景観変化は、様々な主体の合理的行動によって引き

起こされ、継続していくのである。この経験は、「澁澤写真」を見ながら、そこに示された旧の景観が現在の景観になるまでの時間的変化の中で何が主体で作用し、どの規模で、どの程度に編成（変化、刻印）されてきたのかの理解が重要であることに気付かせられたのである。地理学が景観を主要な分析対象とする以上、等閑視できない要素が空間編成や空間消費という考え方の中に重層的に存在しているのである。この点で、近代化から現代化への過渡期である時期に撮影された日本や韓国などの臨海部の「澁澤写真」は「非文字資料」としては極めて重要であり、よくぞ先人達が残してくれたと感嘆せずにはいられない。あとは、その資料を読み解く上での手法の考案と発信データベースとしての「再加工：再構成」の問題をいかに止揚するかであらう。

以上のような視点で、日本常民文化研究所に所蔵されている「澁澤写真」整理の第一の課題である地域区分について述べたいと思う。



写真1 韓国 水原華城（北方面）



写真2 韓国 水原華城（東北方面）



写真3 韓国 水原華城（西方面）



写真4 韓国 水原華城（西北方面）

Ⅲ 地域区分上の課題

澁澤の残した約8,000枚の写真は、アルバム貼りされたもの、プリントされただけのものなどその形態は多様であるが、一枚一枚をリストアップする時に行われる地域分類は極めて重要な作業である。作業班が今般作成しつつある収蔵リストは、時間・予算的（より短期で小予算）でなされた労作である。作業過程で地域分類まではなかなか手間をかけることができない事情があった。それは、判断するだけの情報が写真には付加されていないのである。残念なことであるがこの状況の克服には地道な資料渉猟とその突き合わせ作業が必要である。この点、機関を超えた予算策定、人員整備などの体制強化が望まれる。このような事情を踏まえて、地域分類（地域区分）を行う上での留意点は、いつの時期の境界領域をベースにするかということである。わが国においては、戦後2度の大きな行政区画上的変更があった。昭和20年代後半町村合併法に基づ

く再編成、数多くの行政市を生み出したいわゆる「平成の大合併」がそれである。周知のように、明治期、自然村が行政村に、行政村が市町村制に移行する過程で、大区小区制から郡、村名から大字、小字が消えていき、地方によっては従前の境界領域が不明瞭になってきている。その中で地域分類を行うには一定の時期設定が必要である。同時に、海外での地域分類も大胆な区分で行うという決断も時には必要である。ただ、あまりにもその基準が違いすぎると、国内と海外での比較上の不便性と妥当性に問題が出てくるおそれもある。この点には十分な配慮が必要である。

本COEプログラムでは時代区分には詳細な検討が行われ、それが汎用されているものの、地域区分については大胆といえる。資料の制約上の問題や、各研究者の研究スタイル上の問題もあるが、ある一定のガイドラインは是非必要である。班外の研究者との議論でもいささかかみ合わない部分が出てくる場合があるが、まさにこの点が影響していることもある。多少の



写真5 イングランド ブラックカントリーの鉱山住宅



写真6 イングランド ブラックカントリーの水路と石炭のバッチャープラント



写真7 アイアンブリッジ



写真8 イングランド バーミンガムの水路と倉庫の現況

統一についての議論が必要ではなかろうか。「空間編成（論）」や空間消費という考え方を多用する場合この点は範囲の限定という意味で重要なことだからである。

Ⅳ いくつかの事例

以下、「澁澤写真」との比較研究で得られた着眼点から筆者が撮りためた景観写真を示し、今後の類型化時の資料としたい。



写真9 スコットランドの農村景観



写真10 スコットランドの農家



写真11 スコットランド グラスゴーの港湾施設



写真12 スコットランド スターリング城下の景観



写真13 イングランド マンチェスターの水路



写真14 スコットランドの宿場町（ピボットロフィ）



写真15 イングランド ロンドンのスタンリーギボンズ社

(1) 韓国の観光景観

戦後の韓国の経済発展は、都市景観ばかりでなく、農業・農村景観を変化させた。その変化の主体は行政や財閥中心であった。したがって、開発計画は大きく景観に影響をおよぼした。とくに、産業・文化景観は、1960年代から70年代までの政府の開発政策によって、多くの地区、地域で変化させられたといえる。写真1～4は、2006年8月に撮影した水原の世界文化遺産地区の現況景観である。水原華城の城壁から北、東西方向を写したものであるが、遠景に高層ビル群（住宅、事務所、宗教施設等）がみられ、近景の城内遺跡のある空間との対比がおもしろい。

(2) イングランド・スコットランドの景観

イギリスの景観変化はその主体の思想性によって幾分緩慢である。ナショナルトラスト運動の発祥の地でもあり、景観保存についての指向性が強い。写真5～15は、2004年8月にロンドンからバーミンガム、エジンバラなどのスコットランド、マンチェスターまでを縦断した折に撮影してきたものである。写真5～8は、イギリスの産業革命の初期の中心地域であるバーミンガムなどいわゆるブラックカントリーの現況景観である。全体として産業遺跡群の集積地区として保存されている地域であり、炭坑山集落、アイアンブリッジ（最初の鋼鉄製の橋）などが、博物館、産業遺跡として公開されている。写真9、10はスコットランドの農村地域の変化の少ない景観である。写真11、12、14はスコットランドの産業空間の現況景観である。グラスゴーを代表とする造船工業地区では、大型のクレーンがその名残りを示している。スコットランド、スターリング城下の土地利用の変化は、耕作地（牧草地）と新しい住宅地が隣接するようになっている。スコットランドのピポットロフィでは、夏場の観光客によって街が賑わっている。イングランドのマンチェスター（写真13）は、紡績工場街（地区）と他地区を結ぶ水路には、物の輸送から観光客を輸送するボートがその景観の主役となっている。イングランド、ロンドンのシティーに近いスタンリーギボンズ社は、かつて英領全域の景観切手を世界中に提供していたフィラテリーショップである（写真15）。現在でもロンドンの中

心にあり、世界中のフィラテリストのあこがれのスポットであると同時に、19世紀来の世界中の景観資料を、郵便切手、お札、各種クーポン、パウチャー類のかたちで取り引きしている文化景観としても示されるのである。ここで示したものは、記録としての意味が大きい。直接的な言及は、次稿に譲ることにしたい。

V 空間編成の考え方からみた「澁澤写真」の類型化

本稿を閉めるに際し、これまで検討してきた「澁澤写真」のうち、奄美大島と韓国（ウルサン）部分の空間編成の考え方を考慮した類型化の試案を示すことにする。類型化の要素として、空間編成の主体、規模（程度）を指標に分類したのが表1である。この表は、八久保・須山（2003）と浜田（2005）の付表をベースに、以下の新たな類型を付加したものである。類型化のカテゴリーは、①主体として、ヒト（人間）・集団、資本（経済主体）、政治的意志（編成主体としての政党や行政など）、その他のa～cの4分類、②規模・程度要因として、激的な変化、漸次的変化、緩慢な変化、ほとんど目立たない変化の1～4の4分類、③変化頻度・時間要素として、短期間、中間、長期間、その他の4分類とし、その組み合わせで示した。ただし、③は、②に含意されているものの明瞭でないので今回は示していない。ずいぶん乱暴な分類指標とその適用であるが、全体として比較する上ではその大胆さは問題ではないと考える。かえっておおざっぱに捉えた方が全体を俯瞰できるかもしれない。まとめきれない部分や、飛躍が多い。今後の課題としたい。

文献

須山聡

2005「韓国におけるコロニアルタウンの景観—同化と異化、保存・利用・破壊」本C O E年報3号。pp.150-174。
八久保厚志

2004「景観が変わるということ」本C O EニューズレターNo.2。

2005「ブラックカントリーの景観」本C O EニューズレターNo.8。

2006「景観分析のための郵便資料とその可能性—日本・韓国における非文字資料としての景観切手を中心に—」人

文研究 No.159. pp.87-101. 神奈川大学人文学会.
 八久保厚志・須山聡
 2003「澁澤フィルムの図像解析とその応用案」本C O E
 年報1号.
 浜田弘明
 2005「澁澤フィルム撮影地の景観変容」本C O E年報3
 号. pp.129-149.
 浜田弘明・八久保厚志
 2004「澁澤フィルムの景観変容—澁澤フィルムの分析に
 向けて」本C O E調査研究資料1号. pp.127-160.
 藤永豪
 2005「北京市都心部における郊外農山村の景観変容」本
 C O E年報3号. pp.238-249.
 水岡不二雄
 1996『空間編成の経済理論』東京：大明堂.

- * 文献および注記について、略記している刊行物の正式
 名称は以下のとおりである。また刊行主体はすべて神
 奈川大学21世紀C O Eプログラム研究推進会議である。
 ・ニューズレター『非文字資料研究』
 ・『年報 人類文化研究のための非文字資料の体系化』
 ・調査研究資料『環境と景観の資料化と体系化にむけ
 て』

表1 空間編成上の類型化(案)

巻数	写真番号	場所	記載	撮影者	撮影地点		備考	*注 類型
					地点名	特定		
12	SA556	大島名瀬町	絲満女	櫻田勝徳	名瀬市港町	○	荷揚げ場	a1
12	SA557	大島名瀬町	絲満の女 店番 銀簪	櫻田勝徳	名瀬市港町	○	名瀬港から長浜遠望	a1
12	SA558	大島名瀬町			名瀬市末広町	○	中央通り	a2
12	SA562	大島名瀬町	ハブ屋	江崎悌三	名瀬市井根町	○	現,市立体育館	a1
12	SA566	名瀬		竹内 亮	名瀬市井根町	○	ハブ,SA562の建物内	a1
12	SA567	大島名瀬町		竹内 亮	名瀬市朝戸町	△	喜界馬の馬車,マツの植林	b1
12	SA568	大島	テイチ木運搬		名瀬市朝戸町	△	SA567と同一被写体	b2
12	SA569	大島住用村	大紬の染料テーチキの運搬 紬の原料の染色は指導所以外ではせられぬ規定	谷口熊之助	名瀬市朝戸町	△	SA567と同一被写体	b2
12	SA570	大島住用村城		高橋文太郎	住用村城	△	家屋	b1
12	SA571	大島住用村城	島の人々	三宅宗悦	住用村城	△	家屋	b1
12	SA575	大島名瀬町	海岸,葬列の国	高橋文太郎	名瀬市矢之脇町	○	名瀬港から小浜方面	a1
12	SA576	大島住用村城	巫女 シュラマチョーキク	高橋文太郎	住用村城	○	城のトネヤ,ノロ装束	a1
12	SA579	大島住用村城		竹内 亮	住用村城	○	マングローブ植生	a1
12	SA580	大島住用村城	自生のマングローブ	谷口熊之助	住用村城	○	マングローブ植生	a1
12	SA586	大島住用村城	マングローブ	三宅宗悦	住用村城	○	マングローブ植生	a1
12	SA591	大島鎮西村諸鈍	ノギヤまたはオクラと称し高倉同様鼠害を防ぐ穀物の貯蔵場.宇検においてはサスイヤと呼び物置と炊事場を兼ねたる建物とす.住宅以外に床ある建物なり.	谷口熊之助	瀬戸内町諸鈍	△		b1
13	SA597	大島大和村大和浜		竹内 亮	大和村思勝	○	開饒神社より大和浜方向	a1
13	SA598	大島大和村大字大和浜	糖祖直川智翁が初めて甘蔗を試作せし所	谷口熊之助	大和村大和浜	○		a1
13	SA599	大島大和村		竹内 亮	大和村国直	○	フクギの防風林	a1
13	SA602	大島大和村	糖祖直川智翁旧跡の跡 屋敷及建物なし 山麓西向の地,向て左は群倉	谷口熊之助	大和村大和浜	○		a1
13	SA603	大島大和村		竹内 亮	大和村大和浜	○	SA602と同一被写体	a1
13	SA604	大島	物置 甘蔗の殻で葺いた小屋	大西伍一	大和村大和浜	○	大和浜のアシヤゲ	a1
13	SA605	奄美大島大和村	青年集会所 民家と同じ形式である屋内に○ってあるのは同島特産の黒砂糖の樽である	大西伍一	大和村大和浜	○	現,大和浜公民館	a1
13	SA607		大島の民家 風が強いから小さな建物を二,三接続して一軒の家としている ヘゴの木は門柱,糸代の垣根,網代の衝立などいずれも大島の特徴を示している.後方の山は蘇鉄が一面に栽培してある	大西伍一	大和村大和浜	△	役場官吏の自宅か?	b1
13	SA608	大島大和村	民家	谷口熊之助	大和村大和浜	△	役場官吏の自宅か?	b1
13	SA609	大島大和村	群高倉	谷口熊之助	大和村大和浜	△		b1
13	SA610	大島大和村思勝	高倉	櫻田勝徳	大和村思勝	△	屋敷地内	b1
13	SA612	大島大和浜	開饒神社	谷口熊之助	大和村思勝	○		a1
13	SA615	大島大和村	天然林	谷口熊之助	大和村思勝	○	大和浜のカミヤマ	a1
13	SA616	大島大和村思勝	トネヤ	櫻田勝徳	大和村思勝	○		a1
13	SA617	大島大和村思勝		高橋文太郎	大和村思勝	△	〇〇大和分会事務所の表札現在の小中学校か?	b1
13	SA650		蔵		大和村大和浜	△	SA609と同一被写体	b2
13	SA651				名瀬市朝戸町	△	朝戸峠か?	b2
55	SA1979	朝鮮	昭和8年12月	澁澤敬三	不明	-	牛を引く農民	d
55	SA1981	朝鮮	昭和8年12月	澁澤敬三	不明	-	人物集合写真	d
56	SA1999	朝鮮			不明	-	人物4人	d
56	SA2005	朝鮮			不明	-	牛と人	d
56	SA2011	朝鮮			不明	-	医院玄関の人物	d
58	SA2023	朝鮮全羅南道多島海	青淵先生の碑前にて 京城府樊忠壇		ソウル市	-	人物4人	d
58	SA2024	朝鮮全羅南道多島海面鎮里	務安荏子面鎮里 写1(鎮里)		荏子面鎮里	○	水田と集落	a2
58	SA2027	朝鮮全羅南道多島海面光山里	荏子面光山里		荏子面光山里	-	人物集合写真(10人)	d
59	SA2030	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物4人	d
59	SA2033	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物	d

59	SA2034	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物	d
59	SA2035	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物 7 人	d
59	SA2036	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物と樹木	d
59	SA2039	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物(子ども) 6 人	d
59	SA2048	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物	d
59	SA2051	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物(子を背負う女性)	d
59	SA2052	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物	d
60	SA2067	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	カゴ	d
60	SA2068	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	木の道具	d
60	SA2069	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	カゴ	d
60	SA2072	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	ショイコ	d
60	SA2083	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	タイコを持つ人物	d
60	SA2084	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	タイコを持つ人物	d
60	SA2085	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	ドラを持つ人物	d
60	SA2086	朝鮮蔚山邑達里	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	ドラを持つ人物	d
61	SA2104	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州	慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物 2 人	d
61	SA2108	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			蔚山市内	-	女性 2 人	d
61	SA2116	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			蔚山市内	-	市場の商人	d
61	SA2119	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			蔚山市内	-	市場の商人	d
61	SA2125	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			蔚山市内	-	薬店の店先	d
61	SA2131	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			不明	-	ショイコ	d
61	SA2132	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			不明	-	人物 4 人	d
61	SA2136	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			太和江河口部	○	小山と川の小舟	a2
61	SA2139	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			太和江河口部	-	地籍図	d
61	SA2140	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			太和江河口部	-	地籍図	d
61	SA2141	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			太和江河口部	-	地籍図	d
61	SA2142	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			太和江河口部	-	地籍図	d
61	SA2143	朝鮮, 蔚山, 新高里, 兵営, 慶州			太和江河口部	-	地籍図	d
62	SA2146	朝鮮旅行写真(蔚山邑達里)	Tsige		蔚山市達洞	-	荷を背負う人物	d
63	SA2157	朝鮮・兵庫			荏子面水島沖	-	船上の 2 人	d
63	SA2158	朝鮮・兵庫	水島眺メ入ル		荏子面水島沖	△	船上から見た島	b 1
63	SA2160	朝鮮・兵庫	鎮里 ポルマダン		荏子面鎮里	△	畑地と山	b 1
63	SA2162	朝鮮・兵庫	鎮里 亭子木 堂山木 堂		荏子面鎮里	△	大樹	b 1
63	SA2165	朝鮮・兵庫	鎮里 長木生		荏子面鎮里	○	木と人物, SA2168 の拡大	a1
63	SA2168	朝鮮・兵庫			荏子面鎮里	○	水田と人物 2 人	a1
64	SA2182	朝鮮	鎮里		荏子面鎮里	○	水田と集落	a2
64	SA2183	朝鮮	上洛月		落月面上落月里	-	洗い物をする女性	d
64	SA2184	朝鮮	全羅南道扶南群島附近, ニベを捕る漁船		荏子面扶南群島	-	船に乗る男性 3 人	d
64	SA2187	朝鮮	嘘砂島(許沙島), 全島の男		荏子面大・小許沙島	-	人物 2 人	d
64	SA2188	朝鮮	嘘砂島(許沙島), 全島の女兒		荏子面大・小許沙島	-	子を背負う女性	d
64	SA2190	朝鮮	全羅南道靈光郡洛月面下洛月里, パーチゲを負へる男		落月面下洛月里	-		d
64	SA2193	朝鮮	全羅南道靈光郡洛月面下洛月里, 船大工と其の道具		落月面下洛月里	-		d
64	SA2194	朝鮮	全羅南道靈光郡洛月面下洛月里, 働く女		落月面下洛月里	-		d
64	SA2195	朝鮮	全羅南道務安郡荏子面鎮里, パーチゲ pa-chi-ge		荏子面鎮里	-		d

64	SA2196	朝鮮	全羅南道務安郡荏子面鎮里,チゲを負へる子供		荏子面鎮里	-		d
64	SA2207	朝鮮	石堤(Dota)と渡船(Dobksan)(荏子面鎮里)		荏子面鎮里	△		b2
64	SA2208	朝鮮	石堤(Dota)と渡船(Dobksan)(荏子面鎮里)		荏子面鎮里	△		b2
65	SA2253	朝鮮旅行写真(蔚山邑達里,慶州,多島海)			蔚山市達洞	-	人物	d
66	SA2260	朝鮮旅行写真(多島海,平壤,京城)			不明	-	テンピンをかつぐ人物	d
66	SA2269	朝鮮旅行写真(多島海,平壤,京城)	楽浪にて			-	人物6人,記念碑の前	d
66	SA2275	朝鮮旅行写真(多島海,平壤,京城)	朝鮮総督府の広口		ソウル市景福宮	○		a2
120	SA3845	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物3人	d
120	SA3846	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物	d
120	SA3847	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	木陰の子ども達	d
120	SA3848	朝鮮達里写真集	昭和11年8月		蔚山市達洞	-	傘をさす子ども達	d
120	SA3868	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	テンピンをかつぐ男性	d
120	SA3869	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	鋤の耕作	d
120	SA3873	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物2人(男性)	d
120	SA3875	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物2人(女性)	d
120	SA3877	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物2人(女性)	d
120	SA3878	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物(子ども)	d
120	SA3879	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 慶尚南道蔚山邑達里		蔚山市達洞	-	人物(子ども)	d
120	SA3885	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里のmadang 其一 東方より西南		蔚山市達洞	○	広場と麦山	a2
120	SA3886	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里のmadang 其二 西		蔚山市達洞	○	広場	a2
120	SA3887	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里のmadang 其三 北西		蔚山市達洞	○	広場と農家	a2
120	SA3888	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里のmadang 其四 北		蔚山市達洞	○	畑と洞舎	a2
120	SA3889	朝鮮達里写真集	昭和11年8月 達里のmadang 其五 madangより北東方を見る		蔚山市達洞	○	畑と山	a2

注) 本表は、八久保厚志・須山聡(2003)及び浜田弘明(2005)の付表をベースに新しい類型を付加したものである。